

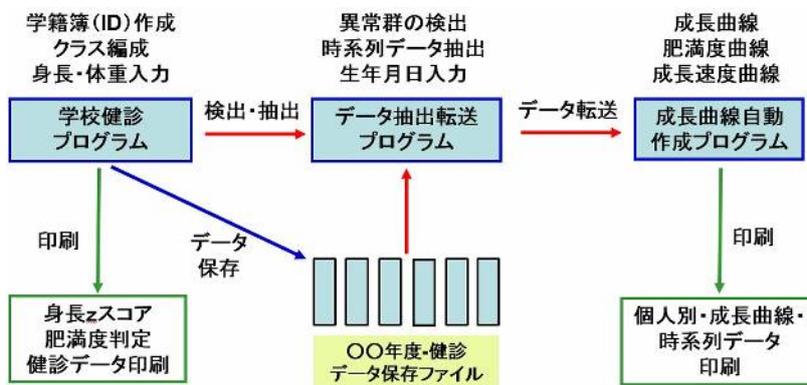
データ抽出転送プログラム 取扱説明書

エクセルの準備

ソフトを起動する前に、エクセルの「マクロの設定」を無効から有効に変更します。メニューバーの「開発」-「マクロのセキュリティ」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れてください。

I. 目的

学校健診用ソフトのうち、成長異常群の検出と、データ抽出・転送を行うためのプログラムです。学校健診用ソフトの概略を、以下の図に示します。



II. 操作

プログラムは3つで、1つのフォルダに入れます。

フォルダ名は、例えば、「健診ソフト〇〇」とします（〇〇は西暦年です）。

3つのプログラムとは、「学校健診プログラム〇〇」、「データ抽出転送プログラム〇〇」、「成長曲線自動作成プログラム〇〇」です。以下の説明では、〇〇は省略することがあります。

他に、「学校健診プログラム〇〇」のデータを保存すると、「〇〇年度-健診データ保存」ファイルができます。「〇〇年度-健診データ保存」ファイルは、1～6年分を同じフォルダに入れます。

起動方法

- 1) エクセルメニューの「ファイル」をクリックします。
- 2) 「健診ソフト〇〇」のフォルダにある「データ抽出転送プログラム」を選び、起動します。

ソフトを起動すると初画面が表示されます。

	A	B	C	D
1	初画面			
2	異常群(異常者) 検出プログラム			
3				
4	対象ファイル			
5	〇〇年度-健診データ保存 単一または複数ファイル検索		学校検診プログラム〇〇 単一ファイル検索	
6	低身長群 -2SD以下	「健診データ保存」 から異常群検出へ	学校健診プログラム から異常群検出へ	
7	ヤセ・肥満群 肥満度-20%以上 または20%以上			
8	成長異常群 腫瘍・内分泌疾患?			
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15	時系列データ 抽出・転送プログラム			
16				
17	対象ファイル			
18	〇〇年度-健診データ保存 単一または複数ファイル検索		学校検診プログラム〇〇 単一ファイル検索	
19	個人の時系列データ	「データ抽出・転送」シートへ		
20				
21				
22	生年月日・補助表	「生年月日」シートへ		
23				
24				

初画面に示すように、異常群検出と時系列データ抽出・転送が主な役目です。

初画面の下方に、「サンプルデータ」ボタンがあります。

脳腫瘍・内分泌疾患の患者の成長データから、成長曲線を描出します。

30	患者データ	「サンプルデータ」へ
31	脳腫瘍・内分泌疾患	

「サンプルデータ」ボタンをクリックすると、以下の「成長曲線サンプルデータ」に移動します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1	成長曲線サンプルデータ																						
2	初画面へ		http://www.gakkohoken.jp/column/archives/83										許可を得て転載 ひとりひとりに成長曲線を描こう Vol.1-5										
3	たなか成長クリニック院長・成長科学協会理事・日本成長学会理事長 田中 敏章																						
4																							
5																							
6																							
7	サンプル1		サンプル2		サンプル3		サンプル4		サンプル5		サンプル6												
8	身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)		身長SD(MIN-MAX)												
9	必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号		必須入力項目 = ID番号												
10	Vol.1 = 氏名		Vol.2 = 氏名		Vol.3 = 氏名		Vol.4 = 氏名		Vol.5 = 氏名		Vol.6 = 氏名												
11	夜尿・脳腫瘍 = 性別		下垂体低形成 = 性別		脳腫瘍 = 性別		甲状腺機能低下 = 性別		下垂体腫瘍 = 性別		= 性別												
12	男 = 生年月日		男 = 生年月日		男 = 生年月日		女 = 生年月日		男 = 生年月日		= 生年月日												
13	1995/4/15 = 生年月日		1995/4/15 = 生年月日		1995/10/15 = 生年月日		1995/4/15 = 生年月日		1999/4/15 = 生年月日		= 生年月日												
14																							
15	計測日		計測日		計測日		計測日		計測日		計測日												
16	身長 cm		身長 cm		身長 cm		身長 cm		身長 cm		身長 cm												
17	体重 kg		体重 kg		体重 kg		体重 kg		体重 kg		体重 kg												
18	2002/4/22 116.8 21		1998/4/15 87 11.5		1998/10/22 89.5 16.5		2002/4/22 117 24		2003/4/15 99 18														
19	2002/10/15 119.3 21.8		1998/4/15 93.5 13		1998/10/15 95.5 20		2002/10/15 118 26.6		2004/4/15 105.5 19.2														
20	2003/4/15 121.7 23.2		2000/4/15 98.5 14.5		2000/10/15 105 24.2		2003/4/15 118.5 28.6		2005/4/15 109.2 23.8														
21	2003/10/22 124.4 24.8		2001/4/15 104.2 16.7		2001/10/15 117 30.5		2003/10/22 119.7 31.2		2005/10/15 110.2 27.5														
22	2004/4/15 125.4 26.1		2001/10/22 105.5 17.5		2002/4/15 122.2 34		2004/4/15 120 33.7		2006/4/15 112 30.8														
23	2004/10/25 127.8 28.5		2002/4/15 107.5 18.2		2002/10/22 127 38		2004/10/25 121 35		2006/8/15 112.4 35														
24	2005/4/18 129.2 29.4		2002/10/25 109 19.5		2003/1/18 129.5 43		2005/4/18 121.8 36.6																
25	2005/10/18 130.1 28.5		2003/4/18 110 19.5				2005/10/18 123 37.3																
26	2006/4/22 131.7 30.4		2003/8/18 110.7 20.2				2006/4/22 123.5 38.2																
27	2006/8/15 132.3 31.1																						
28	2007/2/6 133.4 31.4																						

サンプルデータは、ネット上 (http://www.gakkohoken.jp/column/archives/83) に掲載された、

「ひとりひとりに成長曲線を描こう Vol.1-5」(たなか成長クリニック院長・成長科学協会理事・日本成長学会理事長 田中敏章先生から許可を得て転載しています。

「サンプル1~6」ボタンをクリックすると、データが転送され、「成長曲線自動作成プログラム」に移動します。

前処理) 生年月日・補助表に生年月日を入力

データ抽出・転送して「成長曲線自動作成プログラム」で成長曲線を描出するには、生年月日が必要です。前処理として、「組編成と生年月日入力表」を用いて生年月日を入力します（「組編成と生年月日入力表一取扱説明書」参照）。

処理 A) 異常群検出プログラム

異常群検出プログラムの対象ファイルは、「学校健診プログラム」と6年分の「検診データ保存」ファイルです。異常群の内訳は、低身長群、ヤセ・肥満群、成長異常群です。

初画面の、「学校健診プログラムから異常群検出へ」ボタン、または「「検診データ保存」から異常群検出へ」ボタンをクリックして、異常群検出プログラムに移動します。

○「学校健診プログラムから異常群検出へ」ボタンをクリックすると、以下のシートに移動します。

身長SDの異常		肥満度の異常		成長速度SDの異常		身長SD差 (BMI-MAX)		最終選択IDからシートへ	
抽出対象	基準値	抽出対象	基準値	抽出対象	基準値	子測値	最大変化	連続ID	連続ID氏名
低身長SD (初期値-2.0以下)	-2.0	肥満度 (初期値+30%以上)	30%	成長速度SD (初期値-4以下)	-4	0.58		12008	岩瀬 銀之助
肥満度 (初期値-20%以下)	-20%	肥満度 (初期値)		成長速度SD (初期値+4以上)	4	-0.42		12009	大内 巖枝
成長速度SD (初期値-4.0以下)	-4					0.48		12010	大内 兼宗
成長速度SD (初期値+4.0以上)	4					0.37		12011	大内 雄浩
						-0.40		12012	大田 角太郎
						0.29		12013	岡崎 竜男
						0.31		12014	尾崎 信好
						0.39		12015	片岡 孝次
						0.42		12016	片桐 朗夫
						0.44		12017	河村 浩吉
						0.28		12018	菅 俊憲
						0.51		12019	金丸 孝子
						0.35		12020	栗田 孝栄子
						0.68		12021	吉野 尚平
								12022	滝玉 悠里
								12023	#N/A
								12024	沢田 麻里子
								12025	沢田 吾香
								12026	白川 敏江
								12027	杉浦 信春
								12028	須藤 利人
								12029	角田 玄樹
								12030	大塚 雅雄
								12031	田上 麗弘
								12032	高松 有
								12033	鹿野 英雄
								12034	多田 智子
								12035	堤 耕介
								12036	豊田 早苗子
								12037	長岡 達太郎
								12038	中野 富良
								12039	中村 重文
								12040	野中 直紀
								12041	浜崎 利浩

「学校健診プログラム選択」枠に、今年度分の「学校健診プログラム〇〇」を指定します。検索対象の健診期間が「春・秋・全（春・秋）」から選択できます。また、「検索対象とその基準値」が設定できます。「異常者検出」ボタンをクリックすると、ID番号と名前・性別・異常値が列挙されます。

異常者の検出基準は、「低身長SD（初期値-2.0以下）」・病的肥満「肥満度（初期値+30%以上）」、ヤセ「肥満度（初期値-20%以下）」、「成長速度SD（初期値-4.0以下）」、「成長速度SD（初期値+4.0以上）」です。

成長速度SDについては、「成長曲線自動作成プログラム」で詳述します。成長速度SDと「身長SD差」との間には非常に強い相関があり、私たちの求めた回帰式は、

処理 B) 時系列データ抽出・転送プログラム

初画面の、「データ抽出・転送」シートへ」ボタンをクリックして、
以下に示す、「データ抽出・転送」シートに移動します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1		成長曲線作成データ抽出・転送											
2					初画面へ	2) 検索するファイルまたはプログラム名を選択							
3		成長曲線を自動作成します。											
4		健診保存ファイル選択 (最大6ファイルを設定)											
5		ファイル名 検索ボタン											
6	1)	学籍(ID)番号・性別・生年月日を入力				1	2016年度-健診データ保存.xlsx	ファイル1	選択ファイル名 クリア				
7						2		ファイル2					
8						3		ファイル3					
9						4		ファイル4					
10						5		ファイル5					
11						6		ファイル6					
12		必須入力項目				学校健診プログラム選択 (プログラムは1つのみ)							
13		12030 = ID番号				プログラム名 検索ボタン							
14		大城 雅義 = 氏名 (IDから検索入力)				学校健診プログラム2017.xlsx							
15		男 = 性別 (IDから検索入力)				ファイル							
16		2006/2/20 = 生年月日 (IDから検索入力)											
17		計測日	身長	体重									
18			cm	kg									
19		2016/4/15	138.4	46.7									
20		2016/9/15	140.1	51.9									
21		2017/1/15	141.7	55									
22		2017/4/15	143	59.2									
23		2017/9/15	146.7	64.2									
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													

3) 選択したファイルまたはプログラムからデータ抽出
右のボタンをクリックします。 時系列データ抽出

4) 成長曲線自動作成プログラムへデータ転送
右のボタンをクリックします。 成長曲線自動作成プログラムへデータ転送

5) データクリアまたは終了
右のボタンをクリックします。 データクリア 終了

成長曲線自動作成プログラムへ 初画面へ 「健診データ保存」から異常群検出へ 学校健診プログラムから異常群検出へ

- 「健診保存ファイル選択」枠に、1～6年分の「〇〇年度-健診保存」ファイルを指定します。
- 「学校健診プログラム選択」枠に、今年度分の「学校健診プログラム〇〇」を指定します。
- 入力は、ID番号のみです。
異常群検出シートにある「データ抽出・転送」シートへ」ボタンを使うと、自動入力されます。
- 「時系列データ抽出」ボタンをクリックします。
ID番号だけで、氏名・性別・生年月日・データ（計測日・身長・体重）が抽出されます。
「健診保存ファイル」1～6年分と、「学校健診プログラム〇〇」からデータが抽出され、自動で時系列に並べ替えされます。
- 「成長曲線自動作成プログラムへデータ転送」ボタンをクリックします。
データが転送され、「成長曲線自動作成プログラム」に移動します。

注 1) 画面上にあるマクロボタンから、シート移動が簡単にできます。
注 2) 「時系列データ抽出」ボタンをクリックすると、「生年月日」シートに入力された生年月日データが、成長曲線作成プログラムに自動で抽出・転送されます。